

## 【表紙説明】

会誌第二二二号の表紙の石碑は佐伯市弥生大坂本（小崎団地入口前・蕨野）に建てられている石塔です。

石塔は、大正四年（一九一五）十一月に建立されたものです。

中央に「大典築港共進會受賞記念」と書かれています。

右側面には、大分県南海部郡明治村大字大坂本 鍛冶職 狩生森吉。

左側面には賞状の文面が彫られています。

### 賞 状

大分県南海部郡明治村狩生森吉

斧 参等賞 鉞 褒賞

大典築港記念大分県物産共進會審査長

農事試験場技師 従四位 大塚伸

審査ノ成績ニ依リ前記ノ褒ヲ授與ス

大正四年十一月三日

大典築港記念大分縣物産共進會總裁

大分縣知事 正五位勲四等力石雄一郎

大分縣内務部長正六位 田中喜八

この石碑は個人の褒賞を表したものでした。

この「大典築港記念」とは大正四年京都で行われた大正天皇即位の式典と大分港竣工記念を同時に祝う祝賀記念物産共進會で、今の万国博覧会のようなものです。大正四年十月二十五日から十一月十五日まで、元大分工業高校跡地と大分港埋め立て地で実施されたものです。県下の物産が紹介されました。

ここに出品された品物を部門毎に審査し表彰しています。

共進會本部の受賞者は県内外で名誉賞四一、壹等賞二六九、貳等賞五五六、参等賞七九九、褒賞一一四〇名にのぼり、本郡（南海部郡）では、木炭部門で名護屋村の小野さんが名誉賞、壹等賞は菜種油粕、椎茸、木炭、潤目節、鰺目刺、煮干鰯、紺木綿、障子紙、半紙の部門で十四名、貳等賞には米・麦・生糸・酒・菓子・茶碗部門

で四十八名の方が、参等賞は七十六名、褒賞には八十名の方が受賞しています。詳しくは佐伯新聞（大正四年）十一月二十一日号を御覧下さい。

佐伯では、大正天皇の即位式典は十一月十日の花火を合図に、十四日から十七日まで奉祝行事が計画され町民全員で祝いました。十四日の大嘗祭当日には市民全世帯の五所明神参拜、女島・長島・大船繋の村社の祭、十五日には臼坪・船頭町の村社の祭、十六日は三の丸公会堂で官民一同の祝賀会、十七日は内町の武知行列、船頭町の大知行列、新屋敷の大禮服行列、その他市民の旗行列、夜間の提灯行列などが催されました。

佐伯町では、その奉祝の仕方を詳しく指示しています。元日に準じての松竹梅の常磐木を立て注連縄をはる、鏡餅を供え酒、肴、赤飯を準備、国旗の掲揚など。

会誌二二地号の内容について修正並びに追加がありましたのでお知らせします。

○P 21 上段 15行目

庄助 ↓ 庄助

○P 21 上段 16行目

清太夫 ↓ 清太夫

○P 24 上段 8行目 削除

○P 68 会員名簿三段目

鶴望地区 ↓ 鶴見地区に修正

○P 70 会員名簿一覧表の修正

九つの地区名が違っています。訂正を

願います

上堅田地区 ↓ 西上浦地区

下堅田地区 ↓ 上堅田地区

青山地区 ↓ 下堅田地区

西上浦地区 ↓ 青山地区

弥生地区 ↓ 上浦地区

直川地区 ↓ 弥生地区

宇目地区 ↓ 直川地区

本匠地区 ↓ 宇目地区

上浦地区 ↓ 本匠地区

※平成二十四年一月の表を参考にして使用しましたので混乱が生じました。

○P 72 行事のお知らせ

会員発表会の場所が渡町地区台公民館になっていました。正しくは渡町台公民館です。

渡町地区台公民館 ↓ 渡町台地区公民館

### 【会誌二二号の記事ー追加内容】

事務局だよりP 58ページの中段、受贈図書の中に寄贈者のお名前がありませんでした。大変失礼致しました。次の項に追加訂正をお願い致します。

・丸の内一丁目遺跡

日本国有鉄道清算事業団 一九九八

・丸の内一丁目遺跡二

東日本旅客鉄道(株) 二二〇四

・文部科学省構内遺跡

文部科学省構内遺跡調査会

国土交通省 二二〇四

・文部科学省構内遺跡二

霞ヶ関七号館PFI(株)

大成・新日鉄・日本電設

三菱工業建設共同企業体

文部科学省構内遺跡研究会 二二〇五

以上四冊の寄贈者は所沢市の会員 出納和基夫さんです。二二〇五の後に追加して下さい。よろしく願います。

(会員 所沢 出納和基夫)

※最近、内容等についてのご意見や修正依頼等、会誌についての要望があります。お手紙は次の所までお願い致します。

・編集部(編集委員会)

〒番号 八七六一〇八二三

佐伯市女島区八班の二

吉田 勝重宛

Tel 0901839416268

・事務局(庶務・会計)

〒番号 八七六一〇二六

佐伯市大字池田九一七一三

神田 稔宛

Tel 097212216603